

北海道農政事務所の事務・事業と連携した事例収集

取組名 : 「知床しゃりブランド」認証制度創設による地域産業の振興と地域活性化
取組主体 : 知床しゃりブランド運営委員会
所在地 : 斜里町本町12番地
代表者名 : 斜里町

1 取組の目的

世界自然遺産の町、斜里町では「真の知床産」の優れた商品をブランド化することで、他の商品との差別化を図ることを目指し、平成21年度に「知床しゃりブランド認証制度」を創設。世界自然遺産知床の豊かな自然と、オホーツクの海と大地がもたらす恵みから生み出される農林水産物や加工品を、斜里町の優れたブランド品として認証し、広く全国に発信することにより、地域産業の振興と地域の活性化を図っていくこととした。

2 取組の概要

ブランド化には世界自然遺産「知床」を背景とした自然や文化のイメージ、安全・安心な品質へのこだわり等が必要であることから大学や研究機関、情報関連企業等の有識者で構成された、知床しゃりブランド認証委員会を設置し、厳正な審査のうえ認証することとした。具体的には町民食味審査、製造現場の現地調査やヒヤリングを経て、認証委員会による最終審査で認証される。認証品はブランドマークを付し「知床しゃりブランド認証品」と表示して販売することができる。平成21年度から3回の審査で15製品が認証された。

また、運営委員会が中心となり町ホームページやパンフレットを活用したPR、町内オフィシャルショップ「斜里工房しれとこ屋」や道の駅での販売、地元をはじめ首都圏や札幌などで開催される物産展やイベントへの参加など認証品の販売促進をととした産業振興、地域活性化の取組を行っている。

3 今後の取組目標

製品が認証された企業では売上増加の効果があつたとしているが、バイヤーからの引き合い等はまだまだ弱い。今後も物産展やイベント等への参加、「知床しゃりブランド」の独自ホームページ開設(7月開設予定)など販売促進、全国への情報発信を強化していきたい。

4 取組の課題

ブランド認証品に関する町民アンケートを実施したところ認知度が極めて低いことが判明、町民向けのPR強化が必要。また、首都圏や札幌等イベントへの参加経費の捻出が課題となっている。

画像



(物産展での販売の様子)



(認証品)

事例収集者：北見統計・情報センター
連絡先：0157-23-4037